

『農業情報処理』 学習指導案

群馬県立大泉高等学校

- 1 指導者 教諭 川島 一秀
- 2 日時・場所 平成21年9月 8日(火) 1校時 第2パソコン室
- 3 指導学級 バイオテクノロジー科 2年
- 4 科目・単元 農業情報処理・プレゼンテーションの利活用(農業情報処理:実教出版)
- 5 単元目標
- 1) プレゼンテーションソフトウェアの特徴と機能を理解する。
 - 2) プレゼンテーションソフトウェアの利用方法を身につける。
 - 3) プロジェクト法を理解するとともに身につけたスキルを活用する。
- 6 指導計画
- プレゼンテーションの利活用(全36時間)
- | | | |
|----------------------|------|-----------|
| プレゼンテーションソフトウェアの基本操作 | 9時間 | ……本時(6/9) |
| アニメーション等の中級程度の操作 | 7時間 | |
| プロジェクト法と発表の発信 | 8時間 | |
| 総合演習 | 12時間 | |

7 本時の指導

- (1) 目標 プレゼンテーションソフトを使った作図について復習するとともに、どのような作品がインパクトがあるかなどを、他の生徒の作品を確認しながら考える。
- (2) 展開 (授業は3校時から継続して実施しています)

	時間	指導内容及び学習活動	指導上の留意点	評価規準と観点
導 入	10	<ul style="list-style-type: none"> ・出席の確認 ・マージンリストの確認と本時の学習内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のできる状態になっているか確認する。 	
展 開	30	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援ページから、配付資料をダウンロードして別名で保存する。 ・Web ページから全員の webMap を閲覧し、各自内容確認のうえどのような点が良いかや工夫改善点について評価し、内容を具体的にファイルに記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援ページの操作は、回線の影響が出た場合のバックアップを考える。 ・手際よく閲覧・評価作業が行えるよう指導する。 ・評価の内容に関する記述がとても重要であることを事前に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マージンリスト受信からダウンロード、別名保存等行うことができる(C) ・自ら主体的にページを閲覧し、各ページの内容について評価する。(B)
ま と め	10	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の授業の分かったこと、分からなかったことを用紙に記入。 ・授業プリントをフォルダーに保存のうえ、教科担任にメールで送付する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の授業をしっかりと振り返るとともに、記述は具体的なものとするよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の振り返りを主体的に行うことができる(A)

- 8 評価
- ・メールで送付された成果物を精査し、(A)・(B)の各点について確認する。
 - ・マージンリストのメール確認と授業プリントをダウンロードできるよう机間巡視しながら指導する。
- 9 その他
- ダウンロードやメール送信等の操作は、回線の関係でうまくできない場合が想定される。その場合は、授業フォルダーに内のファイルを利用する。